

様式第2号の1（第7条関係）

奨 学 生 推 薦 調 書					
奨学金を受けようとする者	ふりがな		生年月日	年	月 日生
	氏 名		現住所		
	進学又は 在学学校	国公立 私立	大学・短期大学 専修学校（専門・高等） 高等専門学校 高等学校	学部 学科	第 学年
	卒業学校又は 卒業予定 の学校			卒業 年月日	年 月 日
学力 評価	評 定 平 均 値 （5段階評価） 区分：中学・高校・専門・大学 （○で囲む） （ . ）	5段階評価の平均値 ＝ 全教科評定合計÷全教科数 ※ 少数第1位まで記入 （少数第2位を四捨五入）		記入にあたっては裏面をご 覧下さい。	
推 薦 の 参 考 事 項	（学業・人物についての所見）				
	（家庭状況についての所見）				
記入責任者	職名		氏 名	㊟	
上記の者は、貴市の奨学生として適当な者と認め推薦いたします。 年 月 日 松浦市長 様 学校長 ㊟					

※ 記載上の注意

○直近過去2年間の成績表を添付すること。

○進学又は在学学校名の欄は必要に応じて訂正すること。

(裏面)

奨学生推薦調書記入上の注意

◎ 推薦者について

今年度大学等に入学する(した)者及び編入する(した)者のうち、4月からの貸与を出願する者については、出身高等学校等の長とする(ただし、国の行う高等学校卒業程度認定試験の合格者については、入学する(した)大学等の学長又は学部長とする)。

今年度大学等に入学した者及び編入した者のうち10月からの貸与を出願する者及び大学に1年以上在学する者については、在学する大学等の学長又は学部長とする。

今年度高等学校等に入学する(した)者のうち、4月からの貸与を出願する者については、出身中学校長とする。

今年度高等学校等に入学した者のうち10月からの貸与を出願する者及び高等学校等に1年以上在籍する者については、在学する高等学校等の長とする。

1 大学・短大・専修学校出願者

「学力評価」の欄

1 年 ①高等学校等最終2ヵ年の学習成績の評定を全履修科目について平均した
次・・・・ 値を5段階評価により算出し記入すること。

②国の行う高等学校卒業程度認定試験の合格者については、合格成績の評定を合格科目について平均した値により算出し記入すること。

2年次以上・・・・ 申込時までの大学等の学習成績の評定を全履修科目について平均した値を算出し記入すること。

(大学等及び高等学校卒業程度認定試験の評定は、“A”又は“優”相当を5、“B”又は“良”相当を4、“C”又は“可”相当を3とする。)

2 高等学校等出願者

「学力評価」の欄

1 学 中学校最終2ヵ年の学習成績の評定を全履修科目について平均した値を
年・・・・ 5段階評価により算出し記入すること。

2学年以上・・・・ 申込時までの高等学校等の学習成績の評定を全履修科目について平均した値を5段階評価により算出すること。

3 その他

- ・「記入責任者」欄は、問合せ等に対応できる者を記入すること。
- ・「推薦の参考事項」欄は、把握している範囲で、できるだけ具体的に記入すること。
- ・直近過去2か年分の成績表を添付すること。
- ・本書は作成後、厳封のうえ、親展と朱書して本人に渡すこと。